

『坂の上の雲』まちづくり市民塾（第三期・後期後半）

実践編「企画・実施を体験しよう」

後半第6回議事録

□日 時：平成19年2月27日(火) 19:00~21:00

□会 場：コムズ 会議室3

□参加者：18名

【内訳】

- ・塾 生 10名（森亮一・武田裕美・立田卓也・宮川功一・山田壮一郎・岩井仁茂・小宮政雄・高市章・真鍋佳奈恵・三好尚美）
- ・スタッフ 4名（前田眞・甲斐朋香・森本しげみ・稲田里香）
- ・松山市坂の上の雲まちづくりチーム 4名（松本部長・川崎義昭・玉尾浩紀・石田丈史）

□内 容

I. 前回のふりかえりと今日の流れ

前田 眞

《前回のふりかえり》

- ・伊予山の辺の道と庚申庵の2団体の協働事業（コラボレーション）として、互いの団体がミッションを共有しながらできるものがあれば、具体的にやっていたかという成果ができた。

今後、実際の活動にこのようなシチュエーションがあった場合、後半で学んだノウハウを活用してもらいたい。

《今日の流れ》

- ・3期市民塾で1年半学んできた中間支援の勉強の成果を「坂の上の雲ミュージアム」のオープン後、塾生の皆さんがまちづくり支援にどのような形で関わってもらおうかという今後の処遇について松山市から説明をしてもらう。卒塾式については3月末で、修了書を渡す予定である。
- ・市民塾3期の感想・評価の意見交換
- ・フィールドミュージアムサポーター（仮称）の申請、登録について

II. 市民塾生の今後について

松山市 松本部長

- ・「坂の上の雲ミュージアム」が4月28日オープンする。
重要なことは、フィールドミュージアムの単独館にしないこと。フィールドの中の連携を持った常に成長するフィールドミュージアムの核になる施設であること。
まちとミュージアムがいかに連携していくか。まちのハード整備も進め観光客誘致に取り組んできている。器作りは行政。そこに盛る物を作るのは市民と協働で作っていく事を目的としている。
- ・ミュージアムの機能として、博物館・地域の活動などの情報発信（フィールドに案内する仕掛け）がある。
- ・まちづくりの支援事業として、まちづくりを支える組織＝サポート委員会がある。
地域資源の発掘→光を当てる→まちづくりに生かす地域住民の活動支援

↓

これらの取り組みが観光資源につながる
9 団体が活動している。本年度の一年間ファシリテートしてもらおう。

- ・ 3 期市民塾の目的はファシリテーターの育成である。
今後、まちづくり活動の中で自身を高めながらコーディネートしてもらいたい。
- ・ 1 つの展示物の奥にあるものを見てほしい。
- ・ 会議室をまちづくりの人たちに開放して活動支援の場にしたい。
- ・ 松原先生が館の展示の責任者。大阪万博の民族博物館を作り、中央アジアの歴史に造詣が深く、司馬遼太郎さんとも親しかった人である。会館後、オブザーバーとして係わることになるかもしれない。
- ・ 団体自治から市民主体の住民自治へ向かうことは間違いないので、皆様市民の力を最大限発揮してほしい。



《質疑応答》 ○は質問 →は前田代表の回答

○「坂の上の雲」の小説の紙芝居を子供に作りたいのだがどうすればいいか
→坂の上の雲の小説を、わかりやすく説明できる短編（漫画など）でまとめる試みを考えた事があった。

しかし、司馬遼太郎財団の方から、小説は全部読んでほしく、それをはしょって伝えてほしくないという回答であった。

参加型の展示の企画を考えているので、そこで評価されれば具現化は可能かもしれない。

・ 創作紙芝居の会（堀の内の県立美術館内にある）もある。

○19年以降の図式を見ると、松山市が事務局でサポート委員会との連携でフィールドサポーターが支援団体の運営となっている。これは、1期の市民塾が市との協働というものだったが、3期は委託事業だったという形と似ているのではないか。

→3期の目的は、ファシリテーターの人材育成である。そのノウハウは市にはない。ということで委託した。

サポート委員会の中には、市も入っている。4期はサポート委員会に人材育成をお願いする。行政は仕組みづくりはできるが、フィールドミュージアムではまちづくりの能力を持った人材をもっと育成しないとイケない。いずれフィールドサポーターがこれらの役割を担うことになる。

- ファシリテートの意味や価値観を市民と共有する必要があるのではないか。
- そのとおりだ。そこは反省して今後の課題にしていく。
- 1期の卒業生の処遇はどうするのか。その人達への声かけが必要なのではないか。
- 土台・素地はできたと思う。1期の人達が同じ目的を共有しているとは限らない。
- 惜しい気持ちはあるが、今後どのような方向性に行くか悩んでいるところだ。
- 行政の呼びかけと自らやるということがある。自らやるという意識をどこまで持てるか。
- それが可能性を広げることになるのではないか。今後のまちづくりの動き方のモデルになるのではないか。

Ⅲ. 市民塾3期の評価・感想 ○は評価 →は前田代表の回答

【良かったこと】

- 自分がネットワークの体験（シミュレーション）ができたことが良かった。回数をこなさなければならないことがあるということがわかった。できなかったこともわかり、厳しさも感じた。
- 新しいことを学ぶ機会となった。
- ファシリテーターの技術を活用するきっかけとなった。
- フィールドミュージアム作りに参加するきっかけとなりそう。
- 第一線で活躍する人の話が聞けた。
- 坂の上の雲について勉強するきっかけとなった。
- 市役所と市民の意見交換の場となった（対等の関係が見えた）
- 目的を共有する市民の間で意見交換ができた。
- まちづくりの幅の広さが感じられた。
- 色々な人材が必要ということがわかった（実践する人、サポートする人）

【悪かったこと】

- 準備をすることについて話し合いがあればよかった。
- 集中講座で（半年くらい）やった方が良かった。日程の設定が長かった。
- 講座の構成として、スキル・まちづくりの事例・実践という考え方だったが、中身の充実に問題があったと思う。
- せっかくの人材が去っていった。多くの人に参加できるようにすべきだ。
- まちづくりのサポーターの育成が目的だという講座の趣旨を明確にするためだった。ただその講座の内容については反省点がある。
- 地域、地域資源、地域特性について混乱した。
- ふりかえりの時間が取れなかったのは反省点である。
- ファシリテーションの技術と自分のやりたいこととの接点が見つからなかった。
- お金がない中で何ができるかわからない。
- シミュレーションと現実の活動が混乱した。
- ネットワーク化の方向性が良くわからなかった。
- ゴールが設定できないままスタートした。方向性が見えなかった。
- 市との関係で明確になっていないこともあり歯切れの悪い対応になったのは、我々自身もどう係わるのか不安なところがあり、手探り状態になったのは申し訳なかった。

- 市民塾の目的にあってないのではないか。
- 協働の意味、意義について最初から市の人と共有できれば良かった。
- 講座の中で市との協働の時間を取ればよかったのかもしれない。
- スタートの段階で参加者の想いを出し合い取り入れるべきだった。
- 行政の参加がオブザーバー的、お客さんのだった。
- フィールドミュージアム作りに向け、ルートや案内人をどう作るのか。
- シミュレーションの中での自分の居場所がわかればよかった。混乱することがあった。
- 1期の時のような行政と作っていくという形が見えなかった。
- フィールドサポーターのニーズがあるのか不安になった。
- 提示するより考えて作っていくという想いの共有がなされてなかったと思う。
- 行政 VS 市民の構図は残ったままのような気がする。
- フィールドを用意しなければならない。市からの要請もあり、こちら側からの提案という形もある。そこを応援サポートするのが、フィールドサポーターの役割かもしれない。
- 仕組みづくりが必要なのではないか。

《松山市から》 松本部長

- ・地域の中で残し守りたい地域資源があると思う。これを掘り起こし、顕在化してくれることにより人は集まるので期待する。
- ・行政がかかわる部分とそうでない部分がある・・・どこに支援（資金）をするのか、条例が必要になるケースなど限界がある。公益性の面を考えること
- ・市民塾の講座のゴールについては、明確でなかった部分もあるが最初に説明したと思う。

《まとめ》 前田眞

- ・サポーターの役割とは何か。課題を明らかにしたり、団体が活動しやすくするためのアドバイスをすることもある。
- 又、サポーターの役割と自らすることの曖昧なところはあるが、サポーターの目的の一つに提案をするということがある。自ら活動している人達を支援することや、合意形成作り、ネットワーク支援など学習したことを今後役に立ててもらいたい。



IV. フィールドミュージアムサポーターへの登録・申請について 松山市 川崎義昭氏

- 登録申請書配布・・・自分ができそうなこと、応援したいことを書いてもらう。

後日提出

- 今後のスケジュール

3月14日(水) 18時30分ミュージアム搬入口集合

塾生をミュージアム案内

3月27日(火) 19時から

卒塾式

4・5月 フィールドミュージアムサポート準備会

6月 フィールドミュージアムサポート委員会の実施

終了

□事務局からの連絡

- ◆市民塾3期の後期からのDVD貸出について

- ・平成18年5月からの講座のDVDを塾生の方の貸出しています。

《DVDリスト》

後期第1回講座	平成18年5月25日	松波龍一「まちづくりとは何か」
後期第2回講座	平成18年6月23日	宮本倫明「フィールドミュージアム作りに向けたまちづくり支援とは」
後期第3回講座	平成18年7月28日	白方雅博「地縁型組織活動とは」
後期第4回講座	平成18年8月9日	萩森一路「市民活動とは」
後期第5回講座	平成18年10月5日	内田洋子「協働とは」
後半第3回講座	平成18年12月5日	実践編シミュレーション①
後半第4回講座	平成19年1月19日	実践編シミュレーション②
後半第5回講座	平成19年2月9日	実践編シミュレーション③
後半第6回講座	平成19年2月27日	市民塾第3期の評価と卒塾後について

- ・貸出方法について

事務局にメールにて貸出希望DVDを申し込む

↓

DVDは宅配で送るか直接事務所に取りに来て頂く

↓

貸出期間は2週間

↓

宅配または直接事務所に返却する

という流れになります。コピーはできません。

素人撮影ですので見づらいところもございますが、ご希望の方はご連絡下さい。

ご質問等ございましたら、お問い合わせ下さい。

